

第62回中国地区学校保健研究協議大会報告

日時：平成29年8月17日（木）
場所：岡山コンベンションセンター

特別講演

生きる力の源、生活習慣の確立は一生もののプレゼント
～眠って、賢く、優しく、人間力UP!～

国立大学法人富山大学 理事・副学長 神川康子 先生

日本の子供たちは先進国の中で最も夜更かして睡眠時間が少なく、睡眠の質も低下している。このような生活リズムを大きく左右する「睡眠・覚醒リズム」の乱れは、子供たちの脳（前頭前野）の働きを低下させ、論理的思考力や学習意欲の低下から学力低下を招き、さらには体力や精神力の低下も招く。子供たちの心身の健康を改善し、本来の成長を保証し、真の「生きる力」を身に付けさせることは、子供達に生涯役立つプレゼントをすることである。そのためには、子供達自身はもちろんのこと、保護者や教師が改めて、生活習慣確率の重要性を共通理解し連携・協力して子供や自らの生活を見直し、改善点を見出し実行していくことが重要である。

学校薬剤師部会

1. 広島県における学校薬剤師活動の好事例（広島県）
薬物乱用防止キャンペーンで広島カープ選手を掲載したポスター、うちわを作成し、うちわは、マツダ ZOOMZOOM スタジアムにて配布
2. 学校環境衛生検査の完全実施をめざして（山口県）
山口県学校薬剤師会の年間行事、完全実施を行った学校の取り組みを報告
3. 鳥取県における幼稚園・認定子ども園の学校薬剤師活動について（鳥取県）
薬剤師の配置状況、検査実施状況等についての報告
4. 島根県および支部での取り組み
各支部の問題点、今後の改善点、検査実施率アップに関する工夫について報告
5. 「知っておこう医薬品のこと」DVDを作成

班別研究協議会

「学校環境衛生活動と喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育」

岡山県明誠学院高等学校

私立高校8校で、自身の健康、医薬品の知識、医薬品の使用、内服薬の使用について調査し、ロート製薬㈱による薬育出前教室を実施。各校の文化祭で、保健委員会による医薬品教育の展示を行う。

安芸高田市立高宮中学校

芸北地域における未成年者飲酒防止教育の一環として、校内研修を実施するとともに、飲酒防止教育推進委員会を設置。

鳥取市立浜村小学校

学校保健委員会の委員や保護者に薬物乱用防止教室を公開し、その後学校保健委員会を開催することにより、保護者啓発の一環とした。